

12月5日

作業の流れ

1 : 10 - 1 : 30 説明

1 : 30 - 2 : 00 発芽実験の種まき (他の作業より先にこれを済ませること)

2 : 00 - 4 : 00 気孔の環境応答実験

合間に、先週の根の測定のリマを済ませ、レポートを作成する。
気孔の環境応答もレポートをまとめる。

I . 発芽・発根と初期生育の環境応答

ろ紙を適当なサイズに切ってカップの底に敷き、
吸水したトウモロコシ種子を 5-6 粒入れてから、
ピペットで所定量の水を入れてフタをする。

フタにマジックで水の量を書き、ビニールテープでとめる。

1 カップ当たりの水の量 = 0.5ml、1.5ml、5ml、15ml の 4 種類。各班 2 カップずつ作る。
木曜日に、芽と根の長さを測り、スケッチする。

